



立西巻き

尼崎市立立花西小学校
校長 笠井美香
2025. 4. 30 (水)
No. 7

[校長先生つぶやき、つぶやく (校長だより)]

「元気なあいさつ もくもくそうじ はきものをそろえる」

大きな声がひびきます。3年1組では、朝の会で、460人全員の約束である「元気なあいさつ もくもくそうじ はきものをそろえる」を唱えます。クラスみんなの声がそろい、心がそろっているようで、なんだか気持ちいいです。「ああ。きっと、今日も元気にがんばるクラスだな。」と感じます。そして、そのあとの朝の会もスムーズに進行していきました。

さて、この約束…児童生活目標ですが、何年も変わっていません。一体、いつからなのだろう…と以前の古い掲示物を見て、昨年から考えていました。達成することが目標です。できていないから、変わらないままなのでしょう。簡単にできそうに思うのですが…。子ども達は成長半ばにありますので、これからできていくよう仕向けていくのは、大人の意識次第と考えます。子ども達に、元気なあいさつを求めるのであれば、こちらも元気にあいさつすること。もくもく掃除をさせたいのであれば、掃除に集中するための手立てを講じること。「はきものをそろえなさい」と口酸っぱく言っても、する子はすぐにするし、しない子はいつまでたってもしません。はきものがそろっていないなくても、何の問題もないと本人は思っているのですから。

なぜ、はきものをそろえる必要があるのか。そして、それを習慣化させるにはどうしたらいいのか。これについては、それぞれの先生方の考えや声掛けの仕方、アイデアを知りたいです。いずれにせよ、目標は達成してこそです。460人が生活目標達成に向け、がんばることを期待しています。

さて、あいさつについてですが、こちらは、学校だけで、完成させるものではなく、基本的には家庭のしつけの範囲かと思います。お家での家族のあいさつは、いかがですか。先日、あるお家の方とお話することがあり、「我が家のルール」を教えていただきました。大変、素晴らしいなと感動しましたので、ご紹介します。『あいさつはすべてのはじまりであり、自分からするもの。「ただいま」と聞こえたら、その声より大きく「おかえり」と迎える。「いただきます」はいきものの命をいただくのであるから、手をしっかりあわせて「いただきます」をはっきりと言うこと。これが当たり前できるように教えています。』とのことでした。そう、あいさつは、体がかってに反応し、自然と言えるようになるまで指導(しつけ)しなければなりません。家で何か、叱られて出てきたのでしょうか。ぶすっとして、相手があいさつしても返事をしないのはいかなものかと思うのです。相手に、その不機嫌は関係ありません。どんな状況であれ、あいさつの言葉をきちんとと言える子どもに育てていきたいと思います。私も、この一年、あいさつの大切さを、子ども達には、しっかりと伝えようと思います。ちなみに、子ども達のあいさつの現状は、「あいさつをしている子はいる」程度です…。

それから、子どもは、家に誰もいない時でさえ、「ただいま」を元気よく言うくらいがよいそうです。犯罪者が犯行を思いとどまるのは、この「ただいま」という子どもの元気な声との報告を聞いたことがあります。家の状況や誰もいないとわかっているのに、犯罪者は警戒し、実行しないということです。

あいさつ一つ。簡単なようで難しい。立花西小学校の子ども大人も一緒になって、日本一あいさつが素晴らしい学校にしていきたいと思います。どうぞ、ご家庭でも「あいさつの大切さ」について再度教えていただけたら、うれしいです。どうぞ、よろしくお願いします。

